



2010年 10月25日 月曜日
(平成22年)

乳がん検診「受けよう」

三原議員ら1400人が訴え

乳がんの早期発見、早期治療の大切さを啓発する「ピンクリボンウォーク」(戸田市実行委員会主催)が24日、戸田市内で行われ、約1400人が参加した。参加者は「みんなそろって乳がん検診を受けよう」とアピールした。
(長沼敏夫)

戸田でピンクリボンウォーク



先頭を歩く神保国男市長や三原じゅんこ参院議員ら
戸田市内

日本の乳がん患者は年々増加傾向で、年間約1万人が命を落とすといわれる。その半数が30代、50代の女性。早期発見、早期治療すれば90%以上が治癒するという。

同ウォークは、乳がんによる死亡の撲滅を目指す世界的な啓発活動「ピンクリボン運動」の一環で、3年前に県内で初めて同市で始まった。今回が4回目。参加者は年々増加傾向で、昨年の倍に上り、検診件数も倍増しているという。子宮がん撲滅に力を入れる三原じゅんこ参院議員やプロ野球元ヤクルト選手の池山隆寛さん、歌手の松本英子さんらがゲストウォーカーに招かれた。

同市の江口詩織さん(31)は「2回目の参加です。医療機関に勤めているので、ここの病気が身近に感じられる。頑張つて歩きます」と話していた。

市役所近くの後谷公園で行われた出発式で、池山さんがスターターを務め、「5、4、3、2、1、スタート」と、カウントダウンとピストルで合図。実行委員長の神保国男市長や三原参院議員らを先頭に出発した。参加者はピンクのたすきを首に巻き、風船を手にもった。中にはピンクのキャラクターに扮した人もいて、国道17号脇など約2・8キロを歩いた。

中間点にある協賛の戸田中央総合病院では、マンモグラフィ画像の紹介や、疑似乳房の触診体験、専門医師・技師による相談などがあつたほか、今年は子宮頸がんワクチン啓発の展示コーナーも作られ、休憩を兼ね、立ち寄る人が多くいた。



乳がんの早期発見などを訴えて行進する三原じゅん子さん(中央)、神保国男戸田市長(右から2人目)ら戸田市役所付近で

乳がん早期発見
撲滅を訴え行進

戸田・1300人参加

乳がんの早期発見・治療を訴える「ピンクリボンウォークIN戸田市」が24日行われ、家族連れなど約1300人が市内約3キロを行進した。今年で4回目。神保国男市長や参院議員の三原じゅん子さん、元プロ野球選手の池山隆寛さんらも参加した。

2年前にがん手術を受けた三原さんは「乳

がんは早期発見が大切、子宮頸がんは予防できる。一人一人が関心を持ち、がん撲滅のために頑張ろう」と訴えた。市によると、市内の乳がん検診率は3年間で倍増した。担当者らは「さらに検診の普及に努めたい」としている。【鵜沢哲雄】

東京新聞

十月のピンクリボン月に合わせ「ピンクリボンウォークIN戸田市」が二十四日あり、市民ら約千四百人が同市内を進行し、乳がんの早期発見、早期治療の大切さを訴えた。市が市民に乳がん検診の重要性を知ってもらおうと、二〇〇七年から実施しており、四回目。午前八時五十五分に、元プロ野球選手池山隆寛さんの合図で、後谷公園をスタート。神保国男市長や、子宮頸がん体験者でもある三原じゅん子参

戸田で催し 市民ら1400人参加



乳がん検診重要性
リボンに託し行進

院議員のほか、ピンク色のTシャツなどを着た市民が国道17号など二・八キロを歩いた。写真。

特設会場の戸田中央総合病院では、乳がん検診の画像を紹介したり、子宮頸がん撲滅に向けたパネル展示などのコーナーが設けられた。「TM NETWORK」の木根尚登さんや、シンガー・ソングライター松本英子さんらによるコンサートもあり、参加者は検診の重要性に思いを新たにしていた。
(前田朋子)